

研修が、変わる。 教師の学びが、深まる。 子どもの学びが、広がる。



先生方をサポートする
研修のアップデートに取り組んでいます

3つのアップデート

①自ら問いを立てる



何のために、何を学ぶのか…
受講者が主体的に学ぶための
「イントロダクション」
「リフレクション」を全研修で

②対話で考える



対話の時間を
大切にしながら、
問題解決のために
協働するプログラムを充実

③共に深める

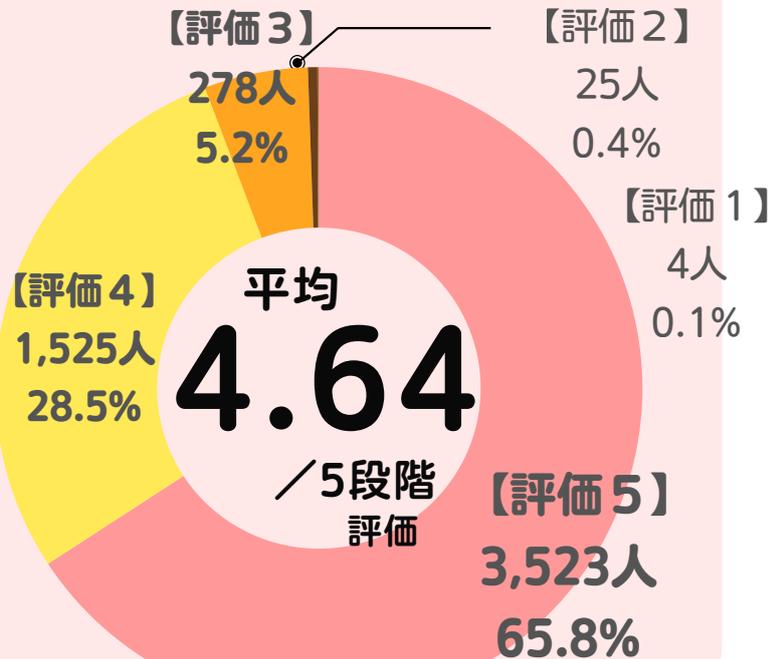


受講者に「教える」「伝える」よりも
受講者が「気付く」「深める」ための
関わりやサポートを重視

RESULTS

受講者の満足度

R7年度4～7月に受講した**5,355人**の評価



型にはまらない、 創造性を刺激する研修へ

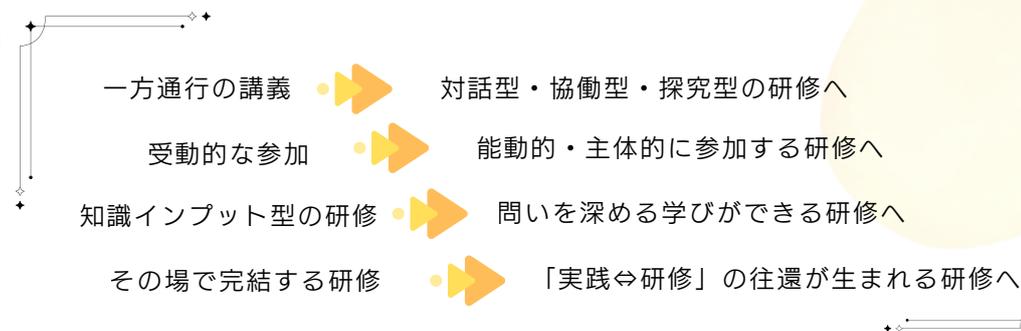
CHANGE



子どもの学びと
教師の学びは相似形
子どもも教師も
「ひなたの学び」へ



「主体的・対話的で深い学び」の実現は、子どもだけでなく、教師の学びも同様に重要です。当センターでは、先生方の主体的な学びを支えることができるよう、講義型だけでなく、探究型の研修を取り入れながら、アップデートした新しい研修に取り組んでいます。



次世代リーダー育成研修

～文部科学省武藤課長を迎えてのフリートーク～



教科指導ラボ

～英語科の様子～

これまでの研修との違いや、なぜこのスタイルに変えたのか、ねらいがわかり、自分の頭で考えて意見を出し合うことを意識でき、よりよい研修になった。

受講者の声

教育委員会職員の学びも
アップデート

自ら問いを立て、学びを深め、創造するということを実感することができた。今回のような研修だと参加したい。

センター職員内でも、研修観の転換に向けた意識改革に取り組んでいます。所内研修での学びはもちろん、日頃から「雑談以上研修未満」の対話を通じて考えを深めています。



センター=自主研修
『水曜日のブースター』

共に学び、子どもたちの未来を創る

研修センターでは、前半の研修の評価・分析を行いながら、先生方の自律的な学びをサポートする研修について学び続けているところです。後半も、子どもたちの未来のため、共に学びを深めていきましょう。

